

平成26年度全国学力・学習状況調査に係る福島県の結果（概要版）

H26.9.2 福島県教育委員会

1 調査に関する概要

実施日	平成26年4月22日（火）	
実施校数	小学校 467 校 (16,641 人)	中学校 231 校 (17,371 人)
調査学年	小学校 6 年生	中学校 3 年生
調査教科	小学校 国語、算数	中学校 国語、数学

※ 特別支援学校（小学部）及び特別支援学校（中学部）を含む。

2 教科に関する調査の結果

《教科に関する調査の結果の総括（公立）》

- 今回の調査結果については、小学校国語は全国平均をやや上回っており、小学校算数及び中学校国語はおおむね全国平均であるが、中学校数学は全国平均を下回っている。
- 昨年度に比べ全体的に改善傾向が見られる。
- 今後も、知識・技能のより確実な定着と、これらを活用して課題を解決する力の育成に取り組む必要がある。
- 「わかる・できる授業」を目指すとともに、児童生徒の思考力・判断力・表現力等を高めるための学習指導の改善に、より一層取り組む必要がある。

(1) 小学校 国語

- 国語Aの平均正答率は73.3%（全国72.9%）、国語Bの平均正答率は57.0%（全国55.5%）であり、小学校国語については、全国平均をやや上回っている。
- 今後は、目標を達成させるための効果的な言語活動を授業に位置付けながら、基礎的・基本的な知識・技能のより確実な定着と、それらを活用して課題を解決していく能力を一体的に育成していく取組を充実させていく必要がある。

① 国語A（主として「知識」に関する問題）

	児童数	学校数	平均正答率 (%)
福島県	16,641	467	73.3
全国	1,080,663	20,177	72.9

② 国語B（主として「活用」に関する問題）

	児童数	学校数	平均正答率 (%)
福島県	16,637	467	57.0
全国	1,080,444	20,176	55.5

(2) 小学校 算数

- 算数Aの平均正答率は78.7%（全国は78.1%）、算数Bの平均正答率は57.8%（全国は58.2%）であり、小学校算数については、おおむね全国平均である。
- 今後は、基礎的・基本的な知識・技能のより確実な定着と、それらを実生活の様々な場面に活用する力や筋道立てて考え表現する力の育成に向け、一層効果的な指導方法を工夫していく必要がある。

① 算数A（主として「知識」に関する問題）

	児童数	学校数	平均正答率 (%)
福島県	16,641	467	78.7
全 国	1,080,657	20,177	78.1

② 算数B（主として「活用」に関する問題）

	児童数	学校数	平均正答率 (%)
福島県	16,634	467	57.8
全 国	1,080,442	20,176	58.2

(4) 中学校 国語

- 国語Aの平均正答率は79.4%（全国79.4%）、国語Bの平均正答率は50.5%（全国51.0%）であり、中学校国語については、おおむね全国平均である。
- 今後は、目標を達成させるための効果的な言語活動を授業に位置付けながら、基礎的・基本的な知識・技能のより確実な定着と、それらを活用して課題を解決していく能力を一体的に育成していく取組を充実させていく必要がある。

① 国語A（主として「知識」に関する問題）

	生徒数	学校数	平均正答率 (%)
福島県	17,371	231	79.4
全 国	1,017,965	9,742	79.4

② 国語B（主として「活用」に関する問題）

	生徒数	学校数	平均正答率 (%)
福島県	17,366	231	50.5
全 国	1,018,157	9,742	51.0

(5) 中学校 数学

- 数学Aの平均正答率は64.7%（全国67.4%）、数学Bの平均正答率は56.8%（全国59.8%）であり、中学校数学については、全国平均を下回っている。
- 今後は、数学的活動をより一層重視し、基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させるための演習とまとめの時間の充実と、それらを活用し、数学的に思考し説明する力等の育成に向けた指導の改善を図る必要がある。

① 数学A（主として「知識」に関する問題）

	生徒数	学校数	平均正答率 (%)
福島県	17,369	231	64.7
全 国	1,018,328	9,741	67.4

② 数学B（主として「活用」に関する問題）

	生徒数	学校数	平均正答率 (%)
福島県	17,371	231	56.8
全国	1,018,365	9,741	59.8

3 児童生徒質問紙調査の結果

<p>〈質問番号〉：(24)</p> <p><u>「家で、学校の授業の復習をしていますか」について</u></p> <p>○ 家で、学校の授業の復習をしている小学生の割合は 69.6 %、中学生の割合は 61.6 %であり、どちらも全国の割合（小：54.0 %、中：50.4 %）より高い。 また、25年度調査と比較すると、復習をしている割合が小学生で2.3ポイント、中学生で0.6ポイント高くなっている。</p> <p>○ このことから、家庭においてその日の授業を振り返り、学習内容の定着を目指し、努力する子どもたちの姿が見える。授業と家庭学習の関連が図られてきていることから、今後は、より充実した家庭学習となるよう、各学校が積極的に子ども一人一人に対する具体的な支援を行うことが大切である。</p> <p>〈質問番号〉：(14)</p> <p><u>「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）」について</u></p> <p>○ 学校の授業時間以外の1日当たりの学習時間については、月～金曜日に1時間以上学習している小学生の割合は71.7 %、中学生の割合は71.3 %であり、どちらも全国の割合（小：62.0 %、中：67.9 %）より高い。 また、月～金曜日の学習時間が30分より少ない、または全くしない小学生の割合は6.6 %、中学生の割合は10.2 %であり、どちらも全国の割合（小：12.7 %、中：14.7 %）より低い。 25年度調査と比較すると、1時間以上学習している割合は、小学生で1.8ポイント、中学生で2.1ポイント低くなっている。</p> <p>○ 子どもたちの家庭における学習習慣は定着してきているが、今後もさらに学習時間の確保や学習内容の質の向上に向け、なお一層、家庭と連携した取組を継続したい。</p> <p>〈質問番号〉：(12)</p> <p><u>「普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか」について</u></p> <p>○ 月～金曜日にテレビゲームを2時間以上している小学生の割合は31.4 %、中学生の割合は34.4 %であり、小学生の割合は全国の割合（30.3 %）より高く、中学生の割合は全国の割合（35.4 %）より低い。 25年度調査と比較すると、月～金曜日にテレビゲームを2時間以上している割合は、小学生で0.6ポイント、中学生で7.4ポイント高くなっている。</p> <p>○ この現状から、小・中学生ともにゲームをする時間をさらに減らし、その時間を家庭学習や読書の時間に充てさせるなど、継続的な取組が大切である。</p>

4 生活圏別平均正答率の状況

- 地域ごとの平均正答率に大きな差がなく、各学校で学力向上に取り組んだ成果が見られる。
- 全国や福島県の平均正答率を上回っている科目や下回っている科目については、地域ごとに異なる特徴が見られるため、それぞれの地域の成果と課題を詳細に分析して、地域の実情に応じた授業改善等に向けた具体的な取組を更に強化していく必要がある。

